

ピコレーザー治療同意書

みよたファミリークリニック

院長 堀口 哲男

患者番号：

氏名：

【ピコレーザーとは】

ピコレーザーとは、ピコ秒（1ピコ秒=1兆分の1秒）という短い時間でレーザー光を照射することができる機械です。照射時間を短くすることで最大出力が大きくなり、メラニンに対して瞬間的にエネルギーを伝えることができます。とても短いパルス幅（照射時間）によって、高い出力にもかかわらず副作用（炎症反応や色素沈着）を軽減し、少ない治療回数で効果的な治療ができると考えられています。

【施術前の注意事項】

- ◆ 前日に施術部位の産毛のお手入れをお願いします。
- ◆ 施術前、メイクはしっかり落としてください。お顔の施術の場合、眼球の上(まぶた)は施術できません。
- ◆ 日焼け直後、創傷などの傷がある場合は施術できません。施術当日のお肌の状態によっては照射をお断りする場合があります。
- ◆ 妊娠中・授乳中・妊活中の方は、ホルモンバランスの変化によりお肌が過敏になり、肌荒れを起こしやすくなるなどお身体の変調を考慮し、施術はできません。
- ◆ 施術部位に皮膚疾患・入れ墨・ヘルペスのような熱によって刺激される可能性のある疾患がある場合は施術できません。
- ◆ 施術部位に金の糸が入っている場合は施術できません。
- ◆ 抗リウマチ剤の金製剤を内服及び注射での治療既往歴、及び治療中の方は施術できません。
- ◆ イソトレチノイン製剤（アキュテイン等）を内服、レチノイド類の外用薬を使用している場合は施術できません。
- ◆ ピーリング剤やトレチノイン、ディフェリンの治療をしている方は施術2週間前から使用を中止してください。施術後の再開は刺激症状が消失し、かつ施術1週間を経過してから開始してください。
- ◆ ステロイドを長期間使用したことにより、皮膚が薄くなり内出血しやすい状態の場合は施術できません。
- ◆ 光感受性を高める薬を内服／外用している方（薬の添付文書の副作用に「光線過敏症」と記載あり）は施術できません。
- ◆ 白斑のある方は施術をお断りすることがあります。
- ◆ 肥厚性癬痕・ケロイドがある部位は照射できません。
- ◆ 他院を含め、3カ月以内に美容治療を受けた方は必ずお申し出ください。受けられた施術の内容、時期によっては施術をお断りする場合があります。

【施術中の注意点】

- ◆ レーザー照射中は、針で刺されるような痛みを感じることがあります。痛みが強い場合には調節もできますので、施術者にお申し付けください。
- ◆ 大きな黒子、炎症性の傷やケロイド、もしくは皮膚疾患のある箇所は治療を行わないことがあります。
- ◆ 黒子はレーザー照射後に色が薄くなる場合があります。消したくない黒子には避けて照射しますので、施術前にお申し付けください。

【施術後の注意点】

ピコスポット、ピコトーニング、ジェネシスモード、ルビーフラクショナル

- ◆ シャワーは直後から可能ですが、入浴は翌日から可能です。
- ◆ 施術後はすぐにメイクをしてお帰りいただけますが、摩擦を加えないため薄いメイクをお勧めします。
- ◆ スポット照射部位にテープを貼付する場合がございます。一週間貼付したまま、剥がさずにお過ごしください。一週間後にテープを剥がしてください。

ピコフラクショナル

- ◆ シャワーは4時間後から可能ですが、入浴は翌日から可能です。
- ◆ 施術後直後はメイクをお控えください。4時間後から可能です。

共通事項

- ◆ 照射当日の入浴、飲酒、サウナ、激しい運動は副作用を増悪させる場合があるのでお控えください。
- ◆ 赤みや熱感が強い場合は、凍傷に注意してクーリングをしてください。
- ◆ レーザー照射後は、お顔を触るなどの刺激を与えると炎症が促進され、副作用が強くなる恐れがあります。照射後から数日間は刺激の強い化粧品や、洗顔料などはお控えください。
- ◆ 施術後は肌の日焼けや、日焼けによるダメージを受けやすくなります。できる限り日光の暴露を避け、日焼け止めを使用してください。
- ◆ 一時的に肌が乾燥しやすくなります。化粧水、乳液、クリーム等で通常よりもしっかりと保湿をしてください。低刺激のものを推奨します。
- ◆ トラネキサム酸、ビタミンC、ビタミンEの内服、ハイドロキノンの外用をお勧めしております。これらは肝斑や色素性疾患の治療効果を持ちますが、レーザーの効果を増大するだけでなく炎症後色素沈着などの合併症の防止に役立ちます。
- ◆ レーザー治療2～4週間はピーリング、脱毛（ワックス脱毛含む）、酸の入った製品の使用を避けてください。
- ◆ 塗り薬等の休薬期間はスタッフの指示に従っていただきますようお願いいたします。

【副作用】

- ◆ 照射後、熱感、ピリピリ感、赤み、かゆみ、一過性の湿疹、ニキビ、膨疹、熱傷、炎症後色素沈着、色素脱失、痂皮形成、水疱形成を起こしたりする場合があります。副作用または合併症が生じ

た場合は処置を行いますので、当院の指示に従ってください。症状を確認したらすぐにご連絡をお願いいたします。

- ◆ 治療には副作用が発症する可能性があることもご理解いただいた上でお受けください。
- ◆ 治療効果をご期待に添えない場合や副作用が発症した場合でも治療費の返還はありません。また、副作用に関わる治療費は患者様ご本人のご負担になりますことをご了承ください。

【施術回数・間隔】

- ◆ 2回目以降の治療間隔は2～4週間の間隔を目安に、5～10回程度の施術をおすすめします。治療回数・間隔は肌質・症状により異なります。
- ◆ 施術直後からくすみや肌質の改善、化粧のノリが良くなるなどの効果を実感できることもありますが、人によっては全く外面上の変化が見られない場合もあります。
- ◆ 症状によって、施術回数、効果には個人差があります。

以上の内容を十分に理解しましたので、施術を受けることに同意いたします。

署名日：

本人 氏 名 _____

保証人※ 氏 名 _____

(※治療を受ける者が未成年者の場合、保証人の欄に署名をお願い致します)